



週)報

2013~2014年度))) R I会長)ロン)D・バートン)
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』
)))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 965 回(10 月 1 日)例会の記録

点 鐘 栗原憲司会長
合 唱 国歌斉唱、奉仕の理想
第 2 副 S A A 若松君、吉川君
ビジター 細田伴次郎様(飯能 R C)

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34 名	27 名	78.13%	83.87%

会長の時間

栗原(憲)会長

今日は日経の文化欄にのっていた、茶に関する記事を紹介致します。

幕末に始まった日本の海外貿易で、茶は絹と並んで有力な輸出品になり、輸出茶は大正時代に最盛期を迎える。茶箱などには木版多色摺りの華やかなラベルがつけられ、輸出茶業界では「蘭字」と呼んでいた。静岡の大学でデザインを教えていた私は蘭字に出合ってから足かけ 25 年になり、これまでに 3000 枚ほどを調べた。



蘭字は、中国から製茶に関する技術とともに伝わった業界用語で「西洋の文字」を意味する。絵柄だけでなく欧文や飾り縁、罫など近代的なグラフィックデザインの要素をすべて備えている。

浮世絵の技術生かす

幕末から明治初頭は梱包材と茶箱に文字のない花鳥画の木版画「茶箱絵」がつけられていた。その後、文字も入ったラベルとして蘭字が登場する。絹や雑貨などの輸出品にも最初は茶と同じように木版ラベルが使われていたが、後に大量生産が可能な機械印刷が主流になる。茶の場合はインクの臭いが茶に移るのをきらい、長らく木版ラベルが使われていたようだ。時代を経ると部分的に機械印刷が採り入れられるが、日米開戦の頃まで、多くの色鮮やかな蘭字が生み出された。

蘭字作りを担ったのは江戸時代から続く浮世絵

工房の画工や彫師、摺師たちだ。19 世紀半ばに世界最高水準のカラー印刷技術を誇った浮世絵工房の伝統が生かされ、欧米では日本の蘭字が本家・中国の蘭字をしのぐ人気を博した。

蘭字に欧文を導入したのは輸出茶を扱う外国商館だが、西洋の言葉を理解していなかったであろう浮世絵職人たちは優れた技術力で、様々な書体を記号として巧みに再現していった。

絵のモチーフも博物画や風俗画などの多彩で、舶来の最先端ファッションを採り上げることもあった。例えば、1880 年代後半に制作されたとみられる三輪自転車に乗る西洋婦人を描いた蘭字だ。都会風女性を描き、アールヌーボー調の書体の蘭字を配したモダンな蘭字も生まれた。

ただ、現存する蘭字は限られる。輸出茶について行くものなので、日本に残ったのは、見本摺りや不出来なキズモノが多い。倒産したり営業をやめたりした会社から流出したものや、記念品として置きかれたものがたまに出てくるくらいだ。大半の蘭字はいつ、誰が、どこで作ったか分らない。文字などの情報から大まかな制作年を絞り込むしかない。例えば、よく見る「MAIL AND RAIL」は、太平洋航路郵船と米国の大陸横断鉄道を経由したことを意味する。そこで、米国の鉄道史などを調べて、年代を推定するわけだ。

完成度の高さに驚く

私が蘭字と出会ったのは 1989 年夏。仏教壁画の研究で西チベットに行こうとしていた時、天安門事件が起き、計画を断念した。ぽっかり空いた時間を埋めようと思い立ち寄ったのが、住まいのある静岡県菊川市の市立図書館菊川文庫だ。そこで、たまたま日本茶業中央会が所蔵する蘭字の展示会に出くわした。

中でも、欧文レタリングの完成度の高さには目を見張った。関係者に聞くと、明治初めから蘭字が作られていたという。

日本における近代的なグラフィックデザインの始まりは通説では 1887 年(明治 20 年)前後とされてきた。だが、それより 10 年も前に、近代グラフィックデザインの要素を持つ蘭字が日本にあっ

たことに驚かされた。

横浜の実家に用事があり、蘭字の参考資料を捜すつもりで立ち寄った開港資料館では 800 枚もの蘭字に出合った。しかも、誰も研究していないという。蘭字の研究は最初、自分には荷が重いと思ったが、力不足でも静岡と横浜に拠点のある私がデザイン史の面だけでも急いで調べて記録しておかないといけないと考えようになった。

茶業界でも再評価機運

蘭字をじかに知る方々が高齢であったことにも背中を押された。制作現場を知る方々の話を直接機会に恵まれたことも幸いだった。茶の輸出が盛んだった頃を知っている茶商や、代々浮世絵の摺師だったという方からも話を聞き、93年に「蘭字

日本近代グラフィックデザインのはじまり」という本をだした。

茶の業界でも蘭字を再評価する機運が高まり、日本茶業中央会では毎年、蘭字を配したカレンダーを制作するようになった。前著の刊行から 20 年がたち、その後に分かったことも盛り込んだ新しい本を近いうちに出したいと考えている。

(日本経済新聞 2013年9月27日より)

幹事報告

宮野幹事

1. 第 3 回来日学生オリエンテーション公開について
2. 人間航空際開催について
3. 青少年を育てる狭山市民会議第 4 回理事会報告書について
4. 赤い羽根共同募金について
5. 受贈会報 狭山 R C
6. 例会変更 所沢 R C

米山記念奨学会・特別寄付米山功労者表彰)

江原伸夫君(第 2 回)、寶積克彦君(第 25 回)
稲見 淳君(第 1 回)、宮野ふさ子君(第 1 回)
中谷和美君(第 2 回)



「会員卓話」・・・・・・・・・・

『イニシエーション・スピーチ&健康体操』

高岸陽子会員(2013年5月入会)

狭山中央ロータリークラブは、佐藤会員と柴田会員に紹介して頂きました。熱烈なラブコールを頂いたのは寶積先生です。皆さんの温かい気持ちに心を打たれ、また私自身も色々考えることがあり、一步踏み出したいというときにちょうどお声掛けを頂きましたので、とても感謝をしております。



生まれは福井の敦賀です。先ほど柴田さんのお父様が福井の小浜ということをお聞き致しまして、紹介して頂いたのもご縁があったのかとふと思いました。昭和 33 年 1 月 1 日生まれで、世間一般にお祝いをして頂いて生まれた、めでたい子です。小さい時からとてもお転婆で、体を動かすことが大好きでした。小学校 5 年生からバドミントンを始め、36 歳まで継続しておりました。ただ楽しいだけで行っていたのですが、ラッキーと言いますか運があったと言いますか、高校ではインターハイに出場し、大学ではインターカレッジで優勝しております。社会人は、バドミントンで何も考えずに、ただ羽を打つのみで、メンバーにも恵まれて日本リーグで優勝も致しましたし、バドミントンではトップアスリートでした。

私がバドミントンをやっている時に学んだことは、性格からいいますと、まず負けることが大嫌いでした。負けると悔しくて悔し涙を流し、必ず 2 倍、3 倍にして返してやるという気持ちをいつも持っていました。お陰様で怪我もなく、佐藤先生のお陰でもあるのですが、体のケアを十分にさせて頂きやってこられたので、良い成績も残せたのだと思います。

今思いますと、自分の中ではバドミントンという枠の中、勝ち負けという枠の中、先輩・後輩という縦の序列の中できたものですから、全く世間を知らないということに、この年になってようやく気が付きました。この枠の中でやるのが自分の成長に必要なだったのではないかと、今は感じられます。

仕事はバドミントンを中心に、トップアスリートとして行っていたのですが、会社は「川崎ラケット」というラケット会社に就職致しまして、自分のバドミントンの技術を使いながら、ラケットと川崎ラケットで出しているウェアを売るという仕事でした。商売ということも全く良く分からず、お給料を頂いているだけでしたので、どのようにしたら物が売れるのか、どのようにしたら人に伝

達できるのかということが、全く分らずおりました。これも最近気が付いたのですが、本当に私は知らないことだらけなのだということ、知覚外の所が世の中にたくさんあるということに、あからさまに今気が付いている状況です。

特に自分の今までの生活の中で関係してきた家族、友達、仕事関係の方々やロータリーの方というのは、全然違う方々ですので、自分の中で新しい発見というものが沢山あります。人とは、自分が何か行動を起こそうという時に、不安と恐怖を感じるものです。これは経験がないからそのように感じる、自分の想像でマイナスの事ばかり考え、不安と恐怖を自分で煽っているという所を、最近感じます。あまりそのようなことを考えずに、えい！やあ！とやることも必要ではないかということも学んでいます。

今日はインニケーションスピーチで私の生きざまを話せと言われ、私なりに色々あったなと感じています。バドミントンでは、良い成績が取れて、それが良かったと思っておりますが、バドミントンを36歳までやっており、その後に結婚を致しました。結婚をして、良い奥さんになろうと思ったのですが、どうも梓にはまるのが苦手で、14年間おりましたが、フェイドアウト致しました。今の方が若くなったぞと、皆には一応褒めて頂いております。自分では苦労等、そのような気持ちはなかったのですが、やはりなかなか「～してあげる」「～のため」ばかりでいくと、自分が苦しくなったということも感じました。やはり自分の軸を持って、尚且つ他人にやさしく出来るのではないかと思います。

55年間生きてきて色々ありますが、数か月前に寶積先生がこちらで、「楽しいロータリーにしよう」ということをおっしゃった言葉が、私にはとても響きました。人生生きてきて、では何が苦しかったのか、何が楽しかったのかというと、苦しいこと、楽しいこと全てに学びがあり、自分で楽しくいくということが、非常に自分で納得いく人生になるのではないかと感じております。

今私自身は、健康管理の仕事、心と体の健康管理があります。最初は運動、腰痛、肩こり、生活習慣病を予防しようということで、始めてきました。ところが最近、体を病むと心も病んでくる方も多いので、そちらのケアも仕事の中に入ってきました。ではこの方たちが楽しいかと言いますと、いつもカウンセリング等をしておりますと、「～が痛い」等だけではなく、「誰々がこうしてくれない」「こんなに頑張っているのに、仕事で自分を認めてくれない」等、「～くれない病」が出てきています。体を支えるのは心で、心を支えるものは体ということを考えますと、楽しいことが無ければやっていけないのではないかと思います。

私は健康管理アドバイザーや健康管理インストラクターという名前を使っておりますが、ここで改名をして、「明楽元美カウンセラー」になろうか

と思っております。明るく楽しく元気に、女性ならば美しく、男性ならば格好よくいける方々を増やすために、自分で社会に貢献できたらと思っております。

会社員生活が長かったので、自分自身一人で仲間を作っていこうということが、まだ良く分かっていません。できれば皆さんの力を貸して頂いて、勉強出来たらと思っておりますので、未永く宜しくお願い致します。こちらの皆さんは本当にやさしい方が多くて、最初にロータリーに入る前に、健康の卓話で何度か読んで頂きました。その時に本当に、皆さん親身になって人のことを考えられる方が多いのだと感じました。私は大森から通っておりますが、こちらなら本当に入りたいなと思ったのが本心です。本当にこちらに入れて頂いて、感謝しております。

質問

・思い出の試合は？

いくつかありますが、まず、大学3年の時に初めて東日本という大会で優勝した時が一つです。福井の田舎から出てきたものですから、大きな大会があると場に呑まれると言いますか、実力を発揮できなかったこともあるのですが、この時は無我夢中で、楽しんで勝てたということで、非常に印象に残っています。そしてその後は、社会人になり、1年目に日本リーグで優勝した時、団体で、チームワークで優勝した所の感動が非常に大きかったです。

体操指導

今日の体操ですが、座った状態で細かい所を動かして行きたいと思っております。

心と体の話を先程しましたが、身体が固まっていますと、心も固まります。体もゆるく、心もゆるくということで、緩めるということをやりたいと思っております。

まず深呼吸から、深呼吸は心臓1拍に対して、大体3拍半位の助けになると言われております。長時間座っていますと呼吸も浅くなりますので、心掛けて深呼吸を行うと良いかと思っております。また凝るとか体が固まるということになりますと、立った時に痛いということになりますので、できればマメに動かすということを中心掛けて頂けると良いと思っております。

肩こり予防には、上げたり下げたりという運動よりも、できればダイナミックに腕を回したりということの方が良いと思っております。腕を回すことによって、首の周りもほぐれますので、できれば大きく動かしてください。そして、背中側の体操、背中をしっかり縮めて伸ばすということによって、腰痛、肩こりの予防になりますので、大きく、ダイナミックに動かすことを心掛けて下さい。





細田伴次郎様(飯能RC)

お世話になります。

栗原(憲)君 飯能RC、細田伴次郎様ようこそお出で下さいました。

宮野君 飯能RCの細田様、ようこそお出で頂きました。いつもお世話になります。

高岸さん、イニシエーション・スピーチ楽しみにしております。

江原君 高岸さん、本日のイニシエーション・スピーチ&会員卓話を楽しみにしております。身になるお話よろしくお願い致します。

稲見君 飯能RC細田伴次郎様、ようこそお出で頂きました。今日、卓話の高岸会員、楽しみです。体操しっかり学習します。

小幡君 高岸陽子さん、イニシエーション・スピーチ、楽しみにしています。

小澤君 細田様、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし下さい。

会員誕生祝 高田君

夫人誕生祝 野口(留)君

結婚記念日 守屋君、若松君



次の例会

第2副SAA 吉松君 東君

10月15日(火) 12:30~13:30

外来卓話 米山記念奨学生

スハバートル・ジャウフロント君